

2. REDCap の基本的な操作について

2.3. 症例データの登録

2.3.3. 既存データ呼出し (Record Status Dashboard)

2.3.3 既存データ呼出し (Record Status Dashboard)

■ 登録済の全症例の入力状況を確認し呼出す場合

- ① 画面左側のメニューより[Records Status Dashboard]をクリックします。
《Record Status Dashboard (all records)》画面が表示されます。

患者登録番号	Baseline Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	Laboratory Test Results Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	Rutherford Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	Quality Of Life Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	ABI and TBI Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	Prior Identification Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	Summary In OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	(P1) In OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	(P2) In OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	(P3) In OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	Rutherford Post OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	Rutherford Post OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)
1 (1人目 / 1項目)												
2 (1人目 / 1項目)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

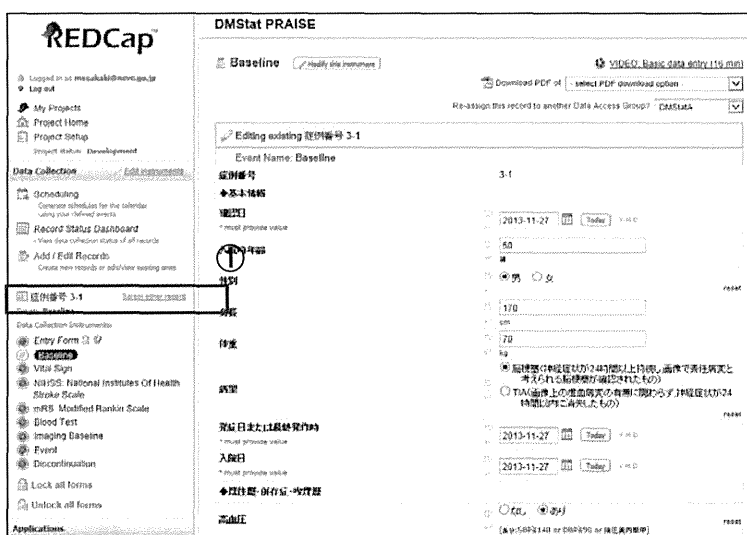
- ② データを入力する対象の症例番号、《Event-Form》の[Status icon]をクリックします。
対象の《Event-Form》の《DataEntry》ページが表示されます。
《DataEntry》ページの入力方法については、新規登録時の操作と同様のため、**研究毎の入力要領(研究の画面説明)**をご参照下さい。

- 2. REDCap の基本的な操作について
- 2.3. 症例データの登録
- 2.3.4 既存データの呼び出し(Event Grid (収集スケジュール))

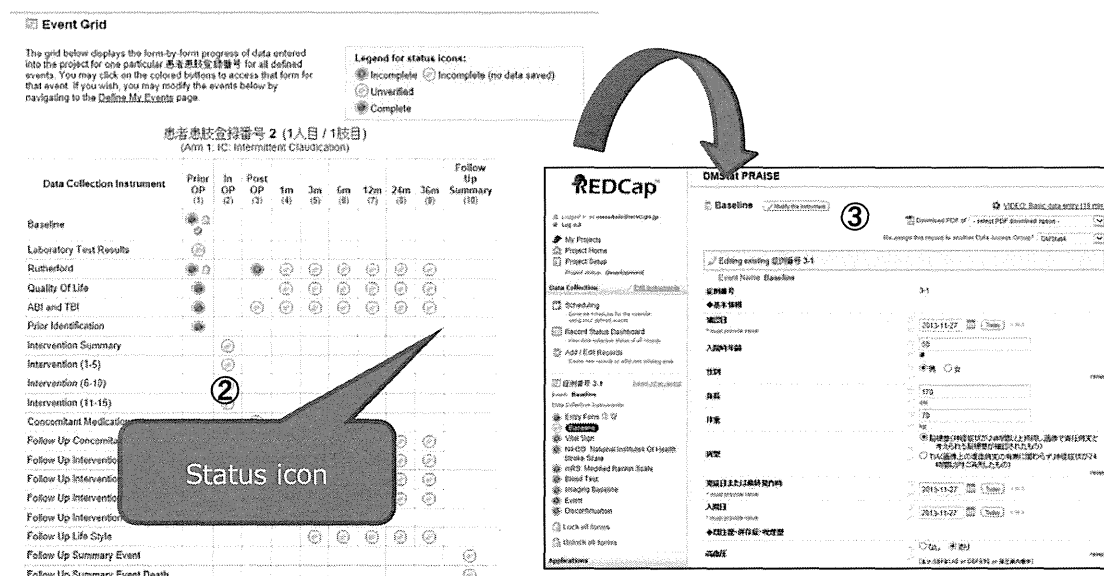
2.3.4 既存データの呼び出し(Event Grid (収集スケジュール))

- 表示されている症例の、異なる収集タイミングのページに切り替えたい場合

2.3.2 既存データ呼出し (Add/Edit Records)、或いは 2.3.3 既存データ呼出し (Record Status Dashboard)で呼び出された現在の症例番号は、画面左側のメニュー画面に表示されます。表示されている症例の異なる収集タイミングのページに切り替えたい場合、「Event Grid (収集スケジュール)」を表示させることで可能になります。



- ① 画面左側のメニューより[症例番号]をクリックします。「Event Grid」画面が表示されます。



- ② データ入力する「Event-Form」の[Status icon]をクリックします。
- ③ 対象の「Event-Form」の「DataEntry」ページが表示されます。

2.4 入力データに対するチェック

データ入力時、あるいは保存時に入力内容に対する整合性チェックが実施されます。

また、入力データに対する一括チェックも実施することが可能です。これらのチェックを実施することで、入力されているデータの品質が向上します。

2.4.1 入力時のチェックとは？

✓ 型の整合性、範囲チェック

入力された時に警告が表示されます。この警告は、入力値が正しい型になるよう修正されない限りメッセージは消えません。警告が表示された理由の詳細は、メッセージに表示されます。

例) "日付"の入力項目に"文字"が入力された場合、入力値が範囲の場合

✓ 必須入力項目の未入力チェック

データ保存時に警告が表示されます。こちらは、警告が表示されていても一時保存が可能です。また、検査が実施できず欠測となってしまった場合は、警告を無視し、該当 Form のステータスを[Complete]することも可能です。

例) 必須入力項目に対し、入力をしていない場合
』を参照して下さい。

- 欠測の警告が表示された場合のボタンの種類は以下の通りです。
いずれの場合も、入力されたデータは既に保存されています。

✓ [Okay]

警告内容を修正する為に、該当 Form を表示します。

✓ [Ignore and leave record]

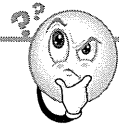
該当 Form に対する警告は無視し、データも放置します。《Event Grid》画面が表示され、該当症例の他の Event、あるいは Form を選択することが可能になります。

✓ [Ignore and go to next form]

該当 Form に対する警告は無視し、次の Form を自動表示します。

- 保存のステータスについては、以下参照：

『2.3.1 新規症例追加 (Add/Edit Records) 』(p.20)



2. REDCap の基本的な操作について

2.4. 入力データに対するチェック

2.4.2 入力時チェック (Data Quality_Real-time execution)

2.4.2 入力時チェック (Data Quality_Real-time execution)

項目間での整合性がとれていない場合などは、データ保存時に警告が表示されます。この警告は、入力値が正しい型になるよう修正されない限りメッセージは消えません。警告が表示された理由の詳細は、メッセージに表示されます。研究毎に設定した入力ルールに基づくチェックです。

例) 日付整合性 「臨床検査 検査日」に同意取得日より前の日付が入力されている場合

Record (Sorted by DAG)	Discrepant fields with their values	Status	Exclude
2 7d	ibd: 2013-11-19 icd: 2013-11-20	Issue exists	exclude

① [save]ボタンを押すと、上記のような警告が表示されます。

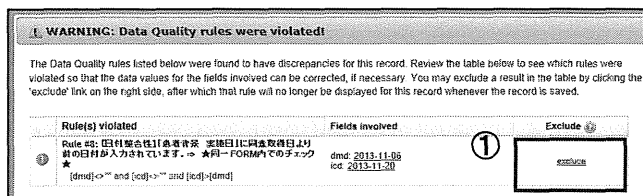
- ✓ 1. 《Rules #》
警告メッセージの内容が表示されます。
- ✓ 2. 《Record(Sorted by DAG)》列
該当項目の症例番号、Event(収集タイミング)、Form、Arm などの情報が表示されます。
- ✓ 3. 《Discrepant fields with their values》列
該当項目の変数名と、その入力値が表示されます。
- ✓ 4. 《Status》列
該当項目のステータスが表示されます。
例) Issue exists ; 問題あり / Missing values; 欠測 など
- ✓ 5. 《Exclude》列
[exclude]と表示されている場合は、現在、このデータはチェック結果の表示対象です。
以降、このデータをチェック結果に表示させたくない場合は、[exclude]をクリックします。行が赤く表示され、次回の結果の件数からは除いて表示されます。また、[remove exclusion]と表示され、行が赤くなっている場合、現在、このデータはチェックには該当しますが、次回の結果の件数からは除いて表示されます。このデータをチェック結果の対象としたい場合は、[remove exclusion]をクリックします。赤く表示されていた行が緑色に表示され、次回の結果の件数から対象データとしてカウントされます。

②

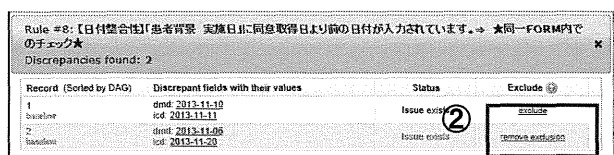
② 《Field involved》列の [入力値のリンク]をクリックし、内容確認の上、必要に応じてデータを修正し保存して下さい。

2. REDCap の基本的な操作について
 2.4. 入力データに対するチェック
 2.4.2. 入力時チェック (Data Quality_Real-time execution)

a) データ (入力値) に誤りが無く、チェック結果を非表示にする場合

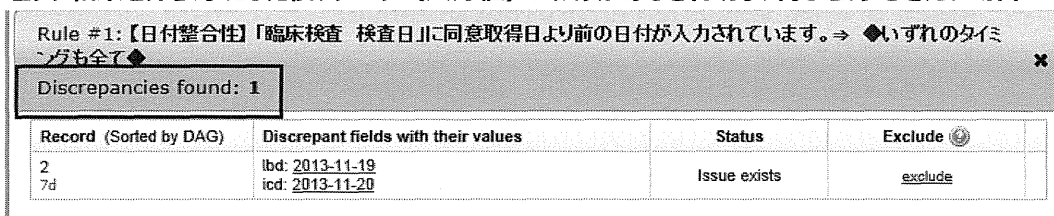


① チェック結果を非表示にしたい項目を選択し、[exclude]をクリックして下さい。



② チェックした項目行が赤く表示され、「exclude」から、「remove exclusion」に表示されていることを確認します。

b) チェック結果を非表示にした後、データ (入力値) に誤りがあると判明し、再び表示させたい場合



画面上部に非表示にした件数が表示されています。 ([件数] exclusion not displayed)

上記画面の例では、1 例が非表示になっています。

横にある[view]をクリックすることで、非表示にした項目が表示されます。

- 2. REDCap の基本的な操作について
- 2.4. 入力データに対するチェック
- 2.4.3 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法

2.4.3 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法

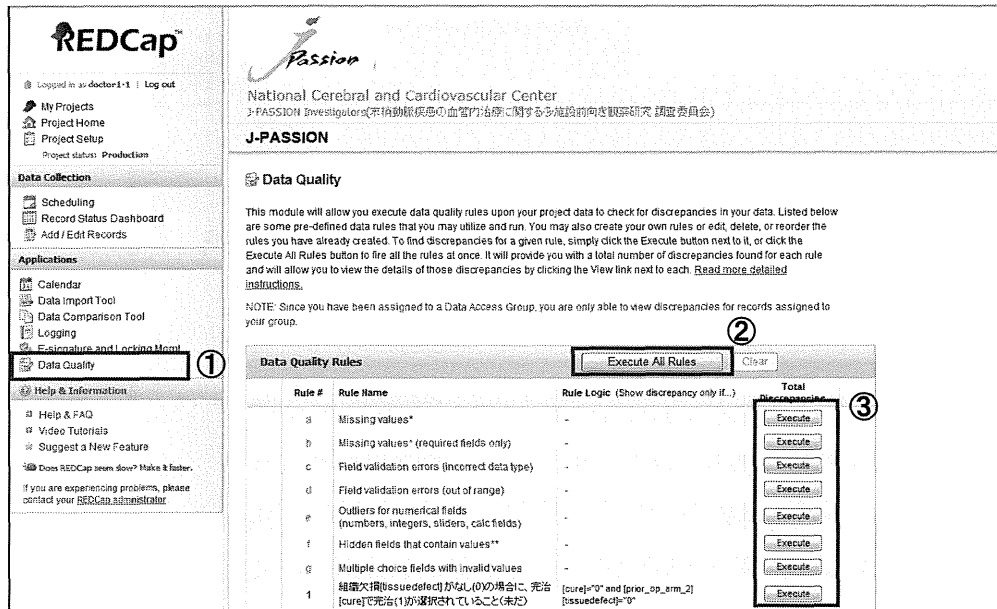
本システムでは、実施施設で入力データに対する一括チェックを実施する機能が提供されています。このチェックは入力データ全てに対し実行され、実行結果から該当箇所画面遷移することも可能です。以下の Rule# a ~ Rule# g のチェックは、システムで提供されています。以降のチェックは研究毎に設定された独自のチェックになります。

■ システム提供のチェック

- ✓ **Rule# a. Missing values***
欠測チェック
- ✓ **Rule# b. Missing values* (required fields only)**
欠測チェック (必須項目のみ)
- ✓ **Rule# c. Field validation errors (incorrect data type)**
データ型不整合チェック
データ型を指定している項目に対し、異なる型の値が入力されている項目 (数値項目に文字入力など)
- ✓ **Rule# d. Field validation errors (out of range)**
データ範囲外チェック
入力値の範囲指定を行っている項目に対し、範囲外の値が入力されている項目
- ✓ **Rule# e. Outliers for numerical fields(numbers, integers, sliders, calc fields)**
外れ値チェック
対象項目に設定されている値で、他の症例、或いは同じ症例の他のイベントで入力されている値から極端に外れた値が設定されている項目
例) ある項目の設定値が、ほとんどの場合「10~30」の範囲で入力されているのに対し、「100」など極端に異なった値が入力されている場合
- ✓ **Rule# f. Hidden fields that contain values****
非表示項目に対してデータが入力されている項目のチェック
入力画面のブランチング (分岐) 処理で非表示となった項目に対して「値を残す」とした項目を検索
- ✓ **Rule# g. Multiple choice fields with invalid values**
複数選択項目での保存データと設定値の不整合チェック
DB に登録されている値が、選択値の設定値に含まれていない項目を検索
運用開始後の仕様変更で選択値の変更を行った場合に発生し得る

2. REDCap の基本的な操作について
 2.4. 入力データに対するチェック
 2.4.3. 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法

■ 使用方法は、以下を参照して下さい。



- ① 画面左側のメニューより [Data Quality] をクリックします。実行画面が表示されます。
- ② 全てのチェックを実行したい場合…[Execute All Rules] をクリックします。
- ③ チェックを個別に実行したい場合…チェックの横に表示される [Execute] をクリックします。

Data Quality Rules				Processing Complete!	Execute All Rules	Clear
Rule #	Rule Name	Rule Logic (Show discrepancy only if...)	Total Discrepancies			
a	Missing values*	-	811	view		
b	Missing values* (required fields only)	-	646	view		
c	Field validation errors (incorrect data type)	-	0	view		
d	Field validation errors (out of range)	-	0	view		
e	Outliers for numerical fields (numbers, integers, sliders, calc fields)	-	24	view		
f	Hidden fields that contain values**	-	0	view		
g	Multiple choice fields with invalid values	-	0	view		
1	組織欠損[tissuedefect]がなし(0)の場合に、完治[cure]=0 and [prior_op_arm_2][tissuedefect]=0	[cure]=0 and [prior_op_arm_2][tissuedefect]=0	0	view		

- ④ 《Total Discrepancies》列に、チェック結果の件数が表示されます。
- ⑤ 結果の横の [view] をクリックします。

2. REDCap の基本的な操作について

2.4. 入力データに対するチェック

2.4.3 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法

Data Quality Rules Processing Complete! Execute All Rules Clear

Rule #	Rule Name	Rule Logic (Show discrepancy only if...)	Total Discrepancies
a	Missing values*		view

Rule: Missing values*
Discrepancies found: 811
(83 exclusions not displayed - [view](#))

Record	Discrepant fields with their values	Status	Exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	dmdat = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	age = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	sex = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	height = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	weight = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	bmi = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	sbp = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	dbp = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	lvef = [no data]	Missing value	exclude
9-10 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	life_sit = [no data]	Missing value	exclude

Close

⑥ 結果の詳細が表示されます。

✓ **1. 《Record》列**

該当症例番号、Event、群などが表示されます。

✓ **2. 《Discrepant fields with their values》列**

該当項目の変数名と、その入力値が表示されます。

[入力値のリンク]をクリックすることで、該当する項目が、画面の一番上にくるようにフォーカスが当たっているため、入力画面が新規画面で表示されます。内容確認の上、必要に応じてデータを修正して下さい。

✓ **3. 《Status》列**

チェックの内容に従って状態を表示されます。例) Invalid value, Issue exists など

✓ **4. 《Exclude》列**

[exclude]と表示されている場合は、現在、このデータはチェック結果の表示対象です。

以降、このデータをチェック結果に表示させたくない場合は、[exclude]をクリックします。行が赤く表示され、次の結果の件数からは除いて表示されます。また、

[remove exclusion]と表示され、行が赤くなっている場合、現在、このデータはチェックには該当しますが、次の結果の件数からは除いて表示されます。このデータをチェック結果の対象としたい場合は、[remove exclusion]をクリックします。赤く表示されていた行が緑色に表示され、次の結果の件数から対象データとしてカウントされます。

2. REDCap の基本的な操作について
 2.4. 入力データに対するチェック
 2.4.3. 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法

Rule: Outliers for numerical fields(numbers, integers, sliders, calc fields)			
Discrepancies found: 24			
Record	Discrepant fields with their values	Status	Exclude
Q-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	sbp = 1120 (median: 80, stdev: 20.00)	Outlier	remove exclusion

⑦ 《Discrepant fields with their values》列の[入力値のリンク]をクリックし、内容確認の上、必要に応じてデータを修正して下さい。

The screenshot shows the REDCap interface. On the left, a 'Rule: Missing values*' report lists discrepancies. A red arrow points from the '1120' link in the 'Discrepant fields with their values' column to the 'sbp' field in the 'Laboratory Test Results' data entry form. The data entry form shows 'sbp' with a value of 112.0.

⑧ 画面は新規画面で表示されますので、簡単にチェックの結果に戻ることができます。
 ※ブラウザによっては、新しいタブに表示されます。

2. REDCap の基本的な操作について

2.4. 入力データに対するチェック

2.4.3 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法

c) データ (入力値) に誤りが無く、チェック結果を非表示にする場合

Rule: Outliers for numerical fields(numbers, integers, sliders, calc fields)			
Discrepancies found: 24			
Record	Discrepant fields with their values	Status	Exclude
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	sbp = 120 (median: 80, stdev: 20.00)	Outlier	exclude
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	dbp = 100 (median: 110, stdev: 4.47)	Outlier	exclude
9-8 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	wbc = 36.5 (median: 12.05, stdev: 9.71)	Outlier	exclude

- ⑨ チェック結果を非表示にしたい項目を選択し、[exclude]をクリックして下さい。

Rule: Outliers for numerical fields(numbers, integers, sliders, calc fields)			
Discrepancies found: 24			
Record	Discrepant fields with their values	Status	Exclude
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	sbp = 120 (median: 80, stdev: 20.00)	Outlier	remove exclusion
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	dbp = 100 (median: 110, stdev: 4.47)	Outlier	exclude
9-8 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	wbc = 36.5 (median: 12.05, stdev: 9.71)	Outlier	exclude

- ⑩ チェックした項目行が赤く表示され、「exclude」から、「remove exclusion」に表示されていることを確認します。

d) チェック結果を非表示にした後、データ (入力値) に誤りがあると判明し、再び表示させたい場合

Rule: Outliers for numerical fields(numbers, integers, sliders, calc fields)			
Discrepancies found: 23			
1 exclusion not displayed view			
Record	Discrepant fields with their values	Status	Exclude
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	dbp = 100 (median: 110, stdev: 4.47)	Outlier	exclude
9-8 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	wbc = 36.5 (median: 12.05, stdev: 9.71)	Outlier	exclude

- ⑪ 画面上部に非表示にした件数が表示されています。([件数] exclusion not displayed)
上記画面の例では、1 例が非表示になっています。横にある[view]をクリックすることで、非表示にした項目が表示されます。

2. REDCap の基本的な操作について
 2.4. 入力データに対するチェック
 2.4.3. 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法

Rule: **Outliers for numerical fields(numbers, integers, sliders, calc fields)**
 Discrepancies found: 24

Record	Discrepant fields with their values	Status	Exclude ¹²
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia) ¹² (excluded)	sbp = <u>120</u> (median: 80, stdev: 20.00)	Outlier	remove exclusion
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	dbp = <u>100</u> (median: 110, stdev: 4.47)	Outlier	exclude
9-8 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	wbc = <u>36.5</u> (median: 12.05, stdev: 9.71)	Outlier	exclude

- ⑫ 非表示にされていた項目が表示され、「excluded」と表示されます。表示された非表示項目から再表示させたい項目の[remove exclusion]をクリックします。

Rule: **Outliers for numerical fields(numbers, integers, sliders, calc fields)**
 Discrepancies found: 24


Record	Discrepant fields with their values	Status	Exclude ¹³
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	sbp = <u>120</u> (median: 80, stdev: 20.00)	Outlier	exclude
9-5 Prior OP (Arm 2: CLI: Critical Limb Ischemia)	dbp = <u>100</u> (median: 110, stdev: 4.47)	Outlier	exclude
9-8 Prior OP (Arm 1: IC: Intermittent Claudication)	wbc = <u>36.5</u> (median: 12.05, stdev: 9.71)	Outlier	exclude

- ⑬ チェックした項目が「remove exclusion」から、「exclude」に表示されていることを確認します。

- 2. REDCap の基本的な操作について
- 2.5. 入力データに対するコメントの作成及び確認 (Field Comment Log)
- 2.5.1 コメントの作成

2.5 入力データに対するコメントの作成及び確認 (Field Comment Log)

2.5.1 コメントの作成

それぞれの入力されたデータに対し、利用者はコメントを入れることができます。またデータマネージャーは、確認のためにコメントをいれる場合があります。既にコメントがある箇所は、 (黄色) になっています。


e) コメント記入例 ; LVEF 値が「20~25ml」で、中央値「23」を入力する場合

- ① コメントをいれたい項目を選択します。(日本語入力可)

※(重要)
個人情報には記載しないでください。

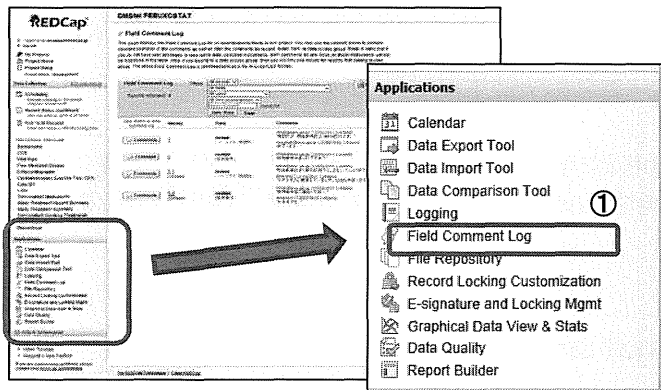
- ② Field Comment Log が表示されます。

コメントの入力方法(最大値、最小値、中央値など)については、研究班の中で意識統一を図ること

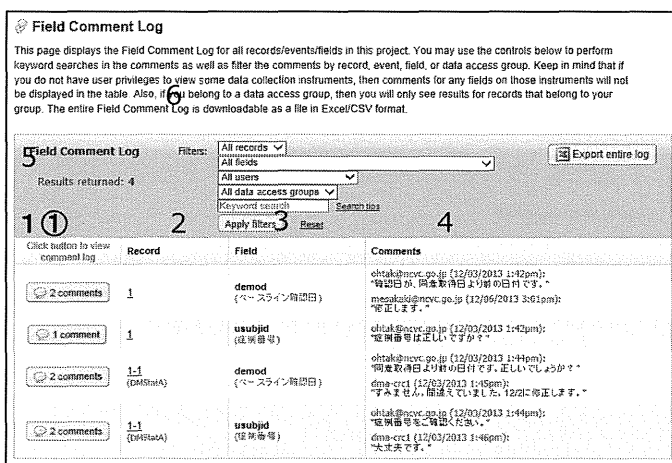
- ③ コメントを入力し、「Comment」ボタンをクリックすると、コメントが挿入されます。コメントが存在する項目は  吹き出しが黄色表示になっています。

2.5.2 コメントの確認

入力された各項目に対してコメントが存在する箇所は、一覧で確認することができます。



① 画面左側のメニュー画面から「Field Comment Log」を選択します。



号/Event 毎(Record)の各項目

(Field)に対し、存在するコメントの一覧が表示されています。

- ✓ 1. 《Click button to view comment log》列
 症例番号/Event 毎(Record)の各項目(Field)に対し、存在するコメント数が記載されたボタンが表示されます。そのボタンをクリックすると、コメント編集画面に移動し、コメントを追加することができます。
- ✓ 2. 《Record》列
 該当するコメントの存在する症例番号
- ✓ 3. 《Field》列
 該当するコメントの存在するフィールド名(項目)
- ✓ 4. 《Comments》列
 コメントの内容
- ✓ 5. 《Results returned:》
 コメントに対し、回答がなされたもの
- ✓ 6. 《Filters》
 フィルター機能を使用し、症例番号毎、Event(収集タイミング)毎・・・など絞り込みが可能です。デフォルトでは存在するコメントが全件表示されています。

2. REDCap の基本的な操作について

2.6. 電子署名

2.6.1 前提条件

2.6 電子署名

2.6.1 前提条件

入力されたデータに対し、権限を持った利用者が内容確認の上、電子署名を行います。
症例を[Complete]で「Lock」した上で、電子署名を行って下さい。

規定の設定では、責任医師、あるいは医師の権限を持った利用者に対し、電子署名の権限を与えています。
但し、研究によって設定が変更されている可能性があります。該当研究での設定は、研究班の中央事務局にお問い合わせ下さい。

2.6.2 対象データの検索 (E-signature and Locking Mgmt)

このメニューでは、電子署名や「Lock」可能なデータを検索することが可能です。

The screenshot shows the REDCap interface. On the left, the 'E-signature and Locking Mgmt' menu item is highlighted with a red box and a circled '1'. The main content area shows the 'E-signature and Locking Management' section. Below the introductory text, there is a link to 'Download the table below as Microsoft Excel (CSV)'. Below that, there are several filter options: 'SHOW ALL ROWS | Show timestamp / user | Hide timestamp / user | Show locked | Show not locked | Show e-signed | Show not e-signed (excludes N/A) | Show both locked and e-signed | Show neither locked nor e-signed (excludes N/A) | Show locked but not e-signed (excludes N/A)'. Below the filters is a table titled 'All Records' with columns: Record, Event Name, Form Name, Locked?, and E-signed?. The table contains 20 rows of data. A 'View record' link is highlighted in a red box with a circled '2'.


Record	Event Name	Form Name	Locked?	E-signed?	
9-1	Prior OP	Baseline			View record
9-1	Prior OP	Laboratory Test Results			View record
9-1	Prior OP	Rutherford			View record
9-1	Prior OP	Quality Of Life			View record
9-1	Prior OP	ABI and TBI		N/A	View record
9-1	Prior OP	Prior Identification			View record
9-1	In OP	Intervention Summary			View record
9-1	In OP	Intervention (1-5)			View record
9-1	In OP	Intervention (6-10)			View record
9-1	In OP	Intervention (11-15)			View record
9-1	Post OP	Rutherford			View record
9-1	Post OP	ABI and TBI		N/A	View record
9-1	Post OP	Concomitant Medications			View record
9-1	Post OP	Follow Up Intervention (1-5)			View record
9-1	Post OP	Follow Up Intervention (6-10)			View record

- ① 画面左側のメニューより [E-signature and Locking Mgmt]をクリックします。
[Complete]で「Save」されている症例データが、Event（収集タイミング）ごと、Form ごとに一覧表示されます。
- ② [View record]をクリックすると、該当の Form が表示されます。2.6.3 電子署名を行う (E-signature) (P.42)の手順で電子署名することが可能です。





J-Passion

E-signature and Locking Management

The table below displays all existing records in the project with their status as locked or e-signed for all data collection instruments. Forms that do not allow locking (if designated on the Record Locking Customization page) will not be displayed below. If a form has been designated not to display the e-signature option but still allows locking, then it will display N/A for that form's e-signature status. You may use the Actions links to filter the table in various ways to show or hide rows based on criteria related to its locking or e-signature status. You may click the View Record link to view that record on the data collection instrument, which will open in a new window. If you would like to export the table as a file in CSV format, simply click the link below.

 Download the table below as Microsoft Excel (CSV) ③

Actions: [SHOW ALL ROWS](#) | [Show timestamp / user](#) | [Hide timestamp / user](#) | [Show locked](#) | [Show not locked](#) | [Show e-signed](#) | [Show not e-signed \(excludes N/A\)](#) | [Show both locked and e-signed](#) | [Show neither locked nor e-signed \(excludes N/A\)](#) | [Show locked but not e-signed \(excludes N/A\)](#)

All Records					
Record	Event Name	Form Name	Locked?	E-signed?	
9-1	Prior OP	Baseline			View record
9-1	Prior OP	Laboratory Test Results			View record

④

- ③ 表示されている一覧を CSV 形式でダウンロードすることも可能です。
- ④ 画面上部《Actions》のリンクをクリックすることで、表示対象のデータを選択、絞り込みすることも可能です。
- ✓ **SHOW ALL ROWS**
全症例の Event(収集スケジュール)毎、Form 毎の Lock 及び電子署名の状況一覧を表示
 - ✓ **Show timestamps / user**
全症例の Event(収集スケジュール)、Form 毎の Lock 及び電子署名の状況をアイコン表示 (Lock 及び電子署名の実施日時/ユーザー名も表示)
 - ✓ **Hide timestamp / user**
全症例の Event(収集スケジュール)、Form 毎の Lock 及び電子署名の状況をアイコン表示 (Lock 及び電子署名の実施日時/ユーザー名は非表示)
 - ✓ **Show locked**
Lock されている症例番号、Event(収集スケジュール)毎の各 Form を表示
 - ✓ **Show not locked**
Lock されていない症例番号、Event(収集スケジュール)毎の各 Form を表示
 - ✓ **Show e-signed**
電子署名されている症例番号、Event(収集スケジュール)毎の各 Form を表示
 - ✓ **Show not e-signed (excludes N/A)**
電子署名されていない症例番号、Event(収集スケジュール)毎の各 Form を表示(設定していない Form を除く)
 - ✓ **Show both locked and e-signed**
Lock 及び電子署名されている症例番号、Event(収集スケジュール)毎の各 Form を表示
 - ✓ **Show neither locked nor e-signed (excludes N/A)**
Lock 及び電子署名されていない症例番号、Event(収集スケジュール)毎の各 Form を表示 (設定していない Form を除く)
 - ✓ **Show locked but not e-signed (excludes N/A)**

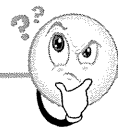
2. REDCap の基本的な操作について

2.6. 電子署名

2.6.3 電子署名を行う (E-signature)

Lock はされているが電子署名されていない症例番号、Event(収集スケジュール)毎の各 Form を表示(設定していない Form を除く)

- 症例の Event が未だ入力されていない場合は、この一覧には表示されません。入力されることで、該当のレコードが作成され、「Lock」や「E-signature」の対象症例として、一覧に表示されます。
- «Incomplete»や«Unverified»でも、「Lock」することは可能ですが、欠測を含んでいる場合でも、データの収集が完了している場合は、ステータスを«Complete»にして下さい。
- 業務の流れは、**研究毎の入力要領**(研究の画面説明)をご確認下さい。
- 保存のステータスは、『2.3.1 新規症例追加 (Add/Edit Records)』(p.20)参照



2.6.3 電子署名を行う (E-signature)

データの登録が完了した CRF に責任医師の電子署名を実施します。電子署名は、責任医師の権限を持つ利用者のみ操作可能です。

《DataEntry》

画面を開き、(1)入力されている症例データに問題がないこと、(2)データの状態が「Complete」となっていること、(3)Lock 欄にチェックがされていること、の 3 点を確認し、「E-signature」欄にチェックをつけます。

- ② 登録内容に応じ[Save Record][Save and Continue][Save and go to Next Form]ボタンをクリックします。

- ③ 電子署名の入力ダイアログが表示されます。「Username」、「Password」を入力し、[Save]ボタンをクリックします。

2.6.4 Lock 及び電子署名の解除（データを修正したい場合）

一度、Lock 及び電子署名したデータを修正する場合、Lock を解除することで可能です。
(Lock 解除することで電子署名も自動的に解除されます。)

① [Unlock form]をクリックします。

② [Unlock form]のメッセージが表示されるので、[Unlock]をクリックします。

③ 《UNLOCK SUCCESSFUL ? 》のメッセージが表示されるので、[Close]をクリックします。

④ Lock 及び電子署名が解除されました。

- 2. REDCap の基本的な操作について
- 2.7. カレンダー機能
- 2.7.1 スケジュール設定、予定追加 (Scheduling)

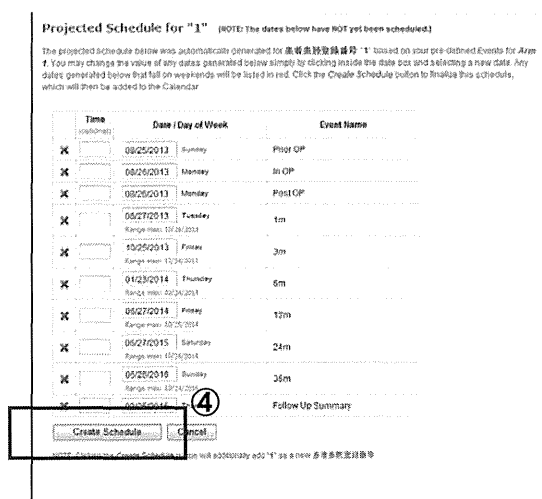
2.7 カレンダー機能

カレンダー機能を利用して、各症例の来院スケジュールを管理することが可能です。

2.7.1 スケジュール設定、予定追加 (Scheduling)



- ① 画面左側のメニューより[Scheduling]ボタンをクリックします。
- ② スケジュールを設定する対象の症例番号、スケジュールの開始日、対象の Arm（症状）を選択します。
- ③ [Generate Schedule]ボタンをクリックします。



- ④ 指定した開始日を起点にした各 VISIT の来院予定日が一覧で表展開されます。必要に応じ、日時を修正します。[Create Schedule]ボタンをクリックします。

2. REDCap の基本的な操作について
 2.7. カレンダー機能
 2.7.1. スケジュール設定、予定追加 (Scheduling)

Scheduling VIDEO: How to use this page (6 min)

5

To view or edit the calendar events of a previously scheduled 患者患肢登録番号, select it from the drop-down menu below.

Select a previously scheduled 患者患肢登録番号: 1 (Arm 1-IC: Intermittent Claudication) ▼

View/Edit Existing Schedule for "1"

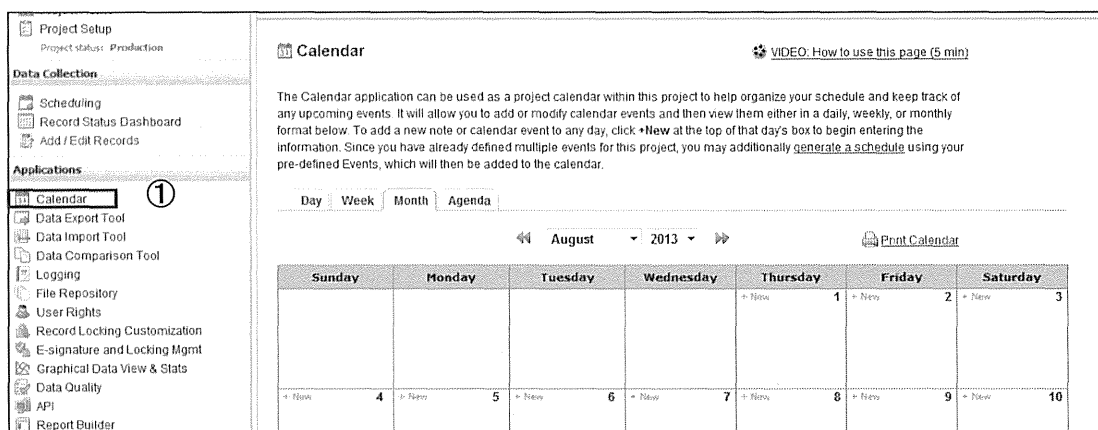
Below are the calendar events for 患者患肢登録番号 "1". Dates that fall on weekends will be listed in red. You may edit any calendar event by clicking the Edit icon, remove an event by clicking the Delete icon, or view the full details of the event by clicking the View icon. You may also add a new unscheduled event at the bottom of the table by selecting a date and clicking the *Add* button.

	Time	Date / Day of Week	Event Name	Status	Notes
⑥		08/26/2013 Monday	In OP	☆ Due Date	
	<input type="text" value="08/26/2013"/>	Monday	Post OP	Due Date ▼	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right; font-size: small;">Expand</p>
		08/27/2013 Tuesday <small>Range max: 10/26/2013</small>	1m	☆ Due Date	
		10/25/2013 Friday <small>Range max: 12/24/2013</small>	3m	☆ Due Date	
		01/23/2014 Thursday <small>Range max: 03/24/2014</small>	6m	☆ Due Date	
		06/27/2014 Friday <small>Range max: 10/25/2014</small>	12m	☆ Due Date	
		06/27/2015 Saturday <small>Range max: 10/25/2015</small>	24m	☆ Due Date	
		06/26/2016 Sunday <small>Range max: 10/24/2016</small>	36m	☆ Due Date	

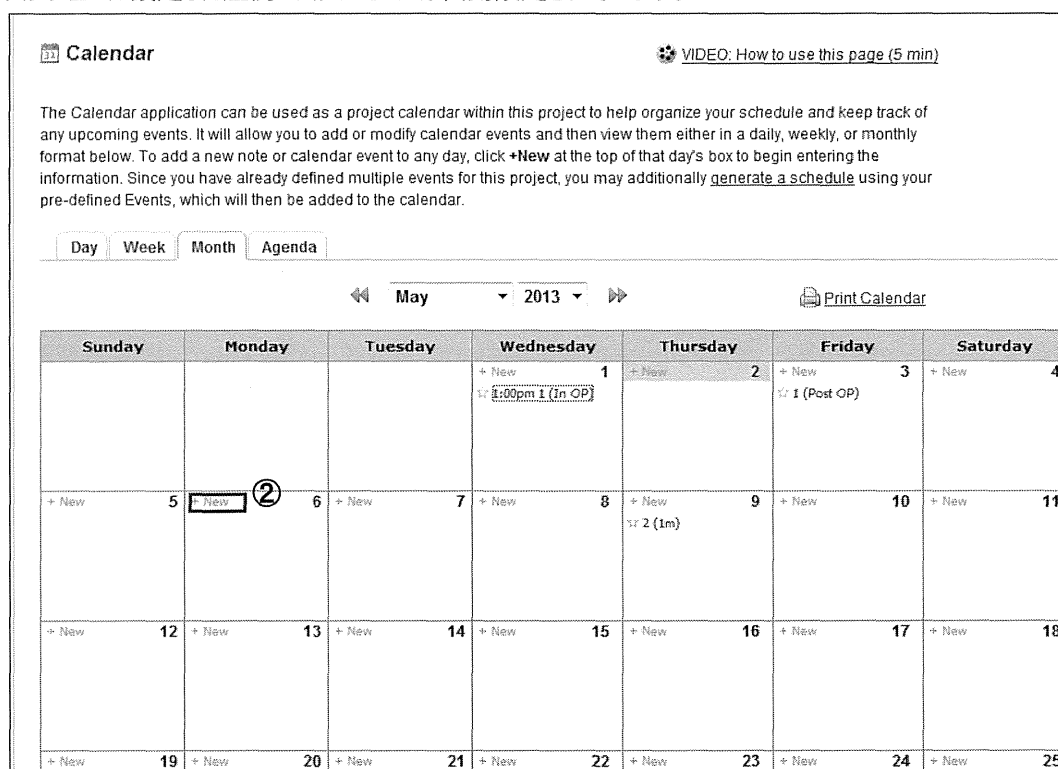
- ⑤ [View or Edit Schedule]タブを開き、対象の症例を選択すると、該当症例のスケジュールが表示されます。
- ⑥ [鉛筆]ボタンをクリックすると、各スケジュール行が編集モードになります。必要に応じて、内容を修正します。症例毎のスケジュールはこの画面で確認が可能です。また、カレンダー機能で参照することも可能です。

- 2. REDCap の基本的な操作について
- 2.7. カレンダー機能
- 2.7.2 カレンダー閲覧、予定追加(Calendar)

2.7.2 カレンダー閲覧、予定追加(Calendar)



- ① 画面左側のメニューより[Calendar]ボタンをクリックします。カレンダー画面が表示されます。スケジュール設定した症例のスケジュールが自動設定されています。



- ② 新たに予定を追加する場合、追加する日の[New]ボタンをクリックします。